

719その他の環境等を起因物とする死傷災害100事例 (-2017年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	小業種	労働者規模
1	2017	12	15~16	多目的室にて、入浴前後の男子利用者の管理中、ソファに並んで大人しく座っていた2人の利用者のうち、1人がソファから滑り落ちるように姿勢が低くなった瞬間、もう1人が急変し襲いかかるという問題行動に被災者が気づき、2人の間に近づいた。その際、頭をめがけて掴みかかる手を払いのけながら、姿勢が低い利用者には立ち上るよう、声かけしていたところ、立ち上がる際にバランスを崩し、被災者を押すように倒れかけたため、被災者は背中から転倒し腰を打ちつけ、しばらく動けなかった。歩くことはできるが、立ち上りや咳で腰に響き、痛みのために腰に力が入らず、押す・引く・荷物を持ち上げるなどの動作ができない状態になった。	62	2	130201	30~49
2	2017	12	7~8	逍遙馬道において騎乗調教中、該馬が突然立ち上がったため落馬し、左腕を強打し負傷した。	39	1	70101	10~29
3	2017	12	18~19	お客さま宅へ小包を配達するため、スロープを歩行していたとき、左へ曲がったところが凍っていた。足を滑らせ転倒し、左下腿骨を骨折した。	49	2	110101	50~99
4	2017	12	15~16	被災者は、被災当日、介護入浴サービスの業務の為、計6件の利用者宅を訪問し、浴槽に入った利用者に対し、側面から膝立ちの体勢で、洗体を行った。業務開始前には異常はなかったが、業務を続けるうちに左膝に違和感・痛みを覚えるようになり、業務終了時にはそれらがひどくなり、大きく腫れ曲がらなくなった。作業中に左膝に菌が入ったのではないかと	18	90	130201	10~29

				の医師の見解を得た。				
5	2017	12	13~14	12番ホールティーグラウンドの平地で、除雪作業をしていた時、除雪道具（スノーダンプ）が雪の塊につかえた為に、持ち手バーが左胸に当たり負傷したものである。	55	3	140301	50~ 99
6	2017	12	17~18	仕事が終了し帰宅中、工場の玄関前で地面が凍結し、表面に少量の雪があった為に靴が滑り転んでしまった。転んだ時に手に荷物を持っていた為に地面に手をつく事が出来ずに頭部を地面に強く打ち付けてしまった。又、手も不安定な状態で転倒した為に左手肘を強打してしまった。	64	2	10209	50~ 99
7	2017	12	6~7	中央卸売市場内、当社センター建物西側、積込作業用駐車場にて、トラック車両乗務席で待機中、トイレへ行こうと降車し、駐車場内を歩行中、足元が滑り、転倒した。当日は朝から雪が降り、アスファルト路面にて2~3cmの積雪があった。後ろへ倒れるように左腕から着地し、左手首を負傷した。運転業務を継続し、会社へ戻るも、痛みがひどくなり、病院で検査を受け、骨折と診断された。	44	7	40301	100 ~ 299
8	2017	12	6~7	営業終了後、車庫棟3階で洗車拭き上げ時、移動の際、床の凍結で滑り転倒し、肋骨を骨折した。	69	2	40201	300 ~ 499
9	2017	12	6~7	出勤時、会社敷地内駐車場にて路面凍結の為、足を滑らせ転倒した。	66	2	140101	1~9
10	2017	12	6~7	敷地内駐車場に車を止め、就業場所までの通路を歩行中、通路が積雪のため滑り、手をついたところ、右手を骨折した。	66	2	130201	30~ 49
11	2017	12	7~8	お客様駐車場で、車から降りて店舗に向かう際、雪道で滑って転倒した。転倒時、手をつき左手首を骨折した。	63	2	80209	100 ~ 299
				コンビニで休憩をとる為、トラックを降りたところ路面が				

20	2017	11	10～ 11	軽四輪で配達途中、配達先玄関の石段が凍結していたため、左端の氷と雪がある部分を上り玄関前に到着し配達を終え、乾いて安全に見えた左端から一段右足で下りたところ、足が滑りその場に転倒してしまった。転倒の際、右腕、肩、腰を強打し、右手首を骨折してしまった。	63	2	110101	500 ～ 999
21	2017	11	9～ 10	建具の糊付け作業が一段落し、コンベア全体に付着した糊の清掃作業をしていた。コンベア各所に付着した糊をコンベアを回転した状態で、除去剤と雑巾を使用して拭き取る作業である。ローラー付近は汚れも酷く危険なので普段から注意を払って念入りにする必要がある。雑巾ごと右手をローラーに巻かれ負傷した。	46	8	10109	100 ～ 299
22	2017	11	5～6	新聞配達時、ポストに配達を終え歩いて門を出たところ、道路が濡れ雪の状態ですべて滑って転倒した。右足が後ろに曲がった状態で道路に打ちつけ右足首を骨折した。	47	2	80205	50～ 99
23	2017	11	8～9	取引先に設置されている自動販売機の故障対応のため、鍵を借り、凍結路面となっていた自動販売機前で転倒し、左足首を凍結路面に強打した。	41	19	80109	10～ 29
24	2017	11	14～ 15	当社の車庫において、トラックから降りる際、足を滑らせ右足を捻り地面に落ちた。その際骨折した。	52	2	40301	10～ 29
25	2017	11	14～ 15	駐車場で、出勤の為、車から降り、職員玄関に向かって3～4歩、歩いた時、早朝から降り積もった雪の下の氷で滑って足を取られ、体勢を崩し体を捻ってしまい、ボキボキと言う背骨の音と共に激痛で、その場から動く事が出来なくなり、休憩で出て来た同僚に助けを求め救急車を呼んでもらい、その日は日曜日ということでもあり、救急隊の指示により、当番医に搬送されそのまま入院となった。	55	19	80209	50～ 99
				事業所駐車場で社用車から降車し、事業所入口に向かって歩いていたら、凍結路面で転倒し、股関節を強打した。一				

26	2017	11	14～ 15	旦事業所内に戻ったが激痛が続いたため、職員に付き添われ整形外科を受診したところ、右大腿骨頸部骨折との診断を受けた。	54	2	130201	10～ 29
27	2017	11	17～ 18	日中の気温上昇で積雪が溶けたザクザク状態の路面を二輪車で走行中、T字交差点前で減速したところ雪にハンドルを取られ転倒した。左足が二輪車の下敷きになり、左足の甲を負傷した。	36	2	110101	300 ～ 499
28	2017	11	15～ 16	お届け先に到着し、降車して後方ハッチを開けようとしたところ滑って転倒し、受け身で右手を付いてしまい打撲、骨折した。路面が凍結している事は把握していたので、足元には注意をしていたが、それでも滑ってしまい転倒した。	56	2	80209	10～ 29
29	2017	10	12～ 13	トリマー業務中に犬に噛まれ、大丈夫かと思っていたが、我慢できない痛みがあった。右手小指第一関節を骨折していた。	21	90	170209	10～ 29
30	2017	10	18～ 19	保育園の駐車場で車に乗ろうとして暗くて足元が見えず、石の上に左足がのり、バランスをくずして転び、左手首を骨折した。	70	2	130201	10～ 29
31	2017	10	3～4	動場において曳き運動中（左側）、該馬が突然暴れ踏まれ、右足（全体特に小指付け根を強く踏んだ）を負傷した。	59	6	70101	10～ 29
32	2017	10	16～ 17	馬房内で当才馬の蹄の裏掘り作業をしていたところ、左後蹄の裏掘りを終えた時に後肢で左頬を蹴られ頬骨骨折。	58	6	70101	30～ 49
33	2017	9	4～5	外灯の無い暗い市道を原付バイクで新聞配達中、進行方向右側の山より突然大きな雄鹿が飛び出して来て避ける間もなく衝突、はずみで右側の山に突っ込む、幸い転倒は免れたが、右足関節外果骨折する。	67	6	80205	50～ 99
34	2017	9	5～6	新聞を配達後、坂道を下ろうとした時、道路上に生えていた苔が雨に濡れていたため、バイクの車輪が滑り、右側に転倒	49	17	80205	50～

				し負傷した。				99
35	2017	9	5~6	上記日時、牧場で内馬場において、牡5歳の調教中、同馬が心臓発作を起こした為、落馬し、左鎖骨を骨折する負傷を負った。	35	1	140309	1~9
36	2017	9	13~14	出走馬に騎乗、発走後コーナー付近において同馬が馬体故障を起こして転倒し、落馬した際に同馬に一瞬乗られて負傷した。	21	6	70101	1~9
37	2017	9	8~9	哺育舎から育成舎への仔牛を移動させる為に仔牛7頭を6人で追っていたところ、牛に蹴られて転び、転んだところを牛に踏まれこの災害となった。	38	6	70101	1~9
38	2017	8	16~17	レース開催中（4レース）ゲートに馬を引き込み、馬が立ち上がり降りたときに、馬の脚が被災者の足に当たった。	50	6	140309	1~9
39	2017	8	9~10	ごみ収集の作業中、被災場所に設置してあるごみストッカーを開け、ごみを収集しようとしたところ、ストッカーの底にハチが複数おり、刺されてしまった。痛みを感じ、すぐに逃げたが、ハチが追ってきてさらに刺されてしまった。	45	90	150109	100~299
40	2017	8	12~13	鮮魚の作業場で真鯛をおろしている時に包丁を持つ手元が狂い、真鯛の背びれが右手人差し指の第一関節あたりから刺さり中に入った状態で出血があり腫れてきた。	40	8	80201	100~299
41	2017	8	9~10	出入り口付近にて乳用牛をパドック内から草地へ放牧作業中、複数の乳用牛が突如暴れ出し、被災者に向かって走り出したため、パドック外側へ逃げようとしたが間に合わず乳用牛に突き飛ばされ、頭部をパドック柵へ打ち付け、頭部、首、胸部などを負傷した。	66	6	170209	50~99
42	2017	7	15~16	樹木の剪定作業中、蜂の巣に気付かず蜂に刺され、まもなく動けなくなった。	37	90	30199	1~9
				馬を洗うため、洗い場に馬を繋ごうとした際、馬が飛び出し				

43	2017	7	6~7	そのまま引きずられ右肩にヒビが入った。	50	2	70101	1~9
44	2017	7	10~11	送迎を終えた母親と園外保育へ行くための職員と子どもが園を出た。通り沿いの歩道で母親を追って行こうと突然走り出した子どもを静止しようと身体を抱きかかえたところ突き離され、その勢いで膝・腰・肩を地面に強打した。	62	19	130201	10~29
45	2017	7	11~12	交配豚舎内において、豚の交配作業中、雌に雄が乗ったので補助に入ろうとしたところ、雄が足を滑らせ雌から滑り降りたために、豚房柵と雄の間に左手が挟まれ骨折した。	25	7	70101	1~9
46	2017	6	16~17	商品配送時、組合員宅に商品をお届け後、トラックに戻る際に坂を下り右に曲がろうとした瞬間、地面のコンクリートの凹みに気付かず躓き転倒した。その際、手には何も持っていなかった。	46	2	80209	30~49
47	2017	6	19~20	病棟の看護室で申し送り中に、患者家族から声がかかり、後程対応すると返答した。その態度が悪いと、1時間以上廊下（病室前）で怒号があり、謝罪しても許しを得られず、大声で怒鳴るなど言葉の暴力があり、強い精神的ダメージを受け、心身疲労状態で休養している。	29	90	130101	1000~9999
48	2017	6	7~8	馬場において取扱用の騎乗調教中、該馬が突然逃避しながら斜行したため落馬し、左肘を負傷した。	32	1	70101	10~29
49	2017	6	4~5	馬房内において、馬の手入れのため馬房に入って、左手に馬と繋がっている手綱を持ち、右手でブラシを持って馬の左側の首、背中、お尻へとブラシをかけている時、馬が何かに驚き、急にお尻を寄せて来て、逃げる間もなく、左肩が馬の左のお尻に、右肩が馬房の壁に挟まれた状態となり、肩と胸が圧迫されたため、鎖骨脱臼と右肺に外傷性の気胸を負った労災事故である。	61	7	70101	1~9
				清掃作業中、窓を拭いた後、狭いスペースであるにもかかわらず				

50	2017	5	15~ 16	らず注意しておらず、備品のテーブルの脚に足をぶつけてしまった。赤くなっている程度だと思い帰宅したが、その後、骨折していることが分かった。	49	3	150101	50~ 99
51	2017	5	10~ 11	エレベーターで36階の会場へ移動中に耳鳴りがし、頭痛、吐き気を感じた。しばらくすると右耳が聞こえなくなった。	34	90	170209	1~9
52	2017	5	10~ 11	1階外来廊下にて、検査誘導から外来へ戻る途中、椅子に座って自動血圧計で血圧を測定していた患者が急に真後ろに倒れてきたため体を支えたところ、患者が腹部にぶつかり受傷した。患者は内視鏡検査のため麻酔をかけていて麻酔が完全に冷めておらず、ふらふらした状態であった。	36	6	120109	500 ~ 999
53	2017	4	15~ 16	工場内で午後のラジオ体操後、被災者が手を腰の後ろでにぎって前屈した時に、同僚があやまって後ろから被災者にぶつかり、後に手を握っていたので手を前に出せずに、工場内のコンクリートの床に前額部を強打した。	69	2	10102	50~ 99
54	2017	4	16~ 17	シャンプー中にお客さまの頭を持ち上げた時、腰に負担がかかり激痛が走った。	35	19	80302	1~9
55	2017	4	15~ 16	小学校の敷地内において、土手（ノリ面となっている）の草を草刈作業中、1.2m程度の高さより下の道路に落ち、腰の骨を折り頭を打って一部切傷した。	67	1	150101	50~ 99
56	2017	4	13~ 14	レース発走のため競走馬をゲート内へ枠入れ作業中、当人が競走馬の後方より馬具を使って促していたところ、競走馬が不意に後退して蹴り、当人の右肘に当たり負傷した。	26	6	170209	30~ 49
57	2017	4	6~7	事業主牛舎にて子牛の熱を測っていたところ、他の牛が暴れて右手首を蹴られて受傷した。	57	6	70101	10~ 29
58	2017	3	15~16	営業所で荷降ろす際、荷箱最後部の長尺物荷物を降ろそうとした時、天候が雨だった為、荷箱最後部の地面が少し濡れており、左足が滑り荷物を流す為のベルトコンベアの角の鉄枠	25	3	40301	30~

				で左足を打撲し、そのまま荷卸し場のホームに倒れ込んで、左足をベルトコンベアのホーム側土台に固定している鉄枠で打撲した。				49
59	2017	3	10~11	馬運動場において取扱馬の乗運動中、該馬が突然暴れた際に落馬し、腰部及び左脇腹を強打し負傷した。	39	2	70101	10~ 29
60	2017	3	13~14	1.5tトラックにて商品の自動車タイヤを納品先へ納入の際、トラックの後方のあおりを下さずに自動車タイヤを取るために右手を伸ばした時、強風でトラック後方の幌が自身に勢いよく被さってきて、その勢いでトラック後方のあおりの縁にわき腹を接触し、接触部分の肋骨1本を骨折した。	57	6	170101	100 ~ 299
61	2017	3	6~7	角馬場において、取扱馬の騎乗調教中、該馬がつまずき人馬ともに転倒し、頸部を負傷した。	63	1	70101	10~ 29
62	2017	3	7~8	業務用チラシを戸別配布中、路上で路面凍結により滑って転倒し負傷した。	50	2	80205	100 ~ 299
63	2017	3	5~6	救護施設内の調理員専用駐車場に車を止め、正面玄関へ向かって歩いていたところ、早朝の気温低下で凍結した路面に滑り、転倒した際に後頭部を打った。当初は処置等しなくても問題なく勤務ができていたが、その後、意識障害と左麻痺の症状が現れた。	59	2	130201	30~ 49
64	2017	3	7~8	作業車両のエンジンを始動するのに、当該車両に行く途中、路面凍結により転倒し負傷した。	49	2	170209	30~ 49
65	2017	3	8~9	屋内走路で育成馬の調教中、突然立ち上がり落馬し、左側肋骨骨折及び右肩負傷を負った。	52	1	70101	30~ 49
66	2017	2	4~5	新聞配達中に、下り坂に差し掛かった際に路面が凍結していたため道路脇のガードレールにつかまって坂道を下ろうとしたところ、転倒して右の足首をひねりながら道路に右足首を	68	2	80205	10~ 29

				打ちつけた。				
67	2017	2	8~9	従業員駐車場において出勤し駐車した後、車から降り作業場へ向かうため歩き出した時に雪で足が滑り転倒した。その際右足首に自分の体に乗ってしまい、全体重がかかり、骨折した。	39	2	80209	50~ 99
68	2017	2	5~6	新聞配達中、配達先の玄関前が凍結していた為、足を滑らせて、転倒してしまい、その際右足大腿骨を骨折したものである。	62	2	80205	50~ 99
69	2017	2	13~14	調教馬場で乗りかわって残り1周で馬が暴走し、手綱をはなさず籠もぬげず頭から落ちて引きずられた。	16	1	70101	1~9
70	2017	2	13~14	陸送車引取の為、伺った支社様の構内通路において雪に足を滑らせ転倒してしまい、左足親指付根部を骨折した。	61	2	40301	—
71	2017	2	9~10	除雪のために長靴を自分の車に取りに行く途中、会社敷地内の凍結した路面で転倒し頭部と腰部を打撲した。	35	2	80202	10~ 29
72	2017	2	5~6	入居者をベッドから車いすへ移動させようと介助していた時、左膝に力が入り過ぎ痛めたものである。負傷当日は大したことがないと思い様子を見ていたが、翌日になって腫れてきたので受診したものである。その後、同じ病院で数日通院し、多少の痛みは有ったものの働いて様子を見ていたが、一向に良くならないため違う病院で治療を受けたものである。	39	19	130201	10~ 29
73	2017	2	6~7	敷地内駐車場で車を停めた後、玄関まで歩いている時、路面凍結しており、滑って転倒した。	41	2	130201	10~ 29
74	2017	2	17~18	チラシ配布作業終了後、会社に戻るため社用車に向かおうとしたところ、駐車場付近で、日没のため既に足元が見えづらかったのに加え、路面が凍結していたため、バランスを崩し、右足を内側にひねった状態で転倒した。病院で診察後、翌日になっても痛みがあったため検査したところ、骨折およ	32	2	80205	50~ 99

				び靭帯断裂と診断された。				
75	2017	2	6~7	事業主経営牛舎内に於いて搾乳作業の為に牛を移動させていたところ、立てない牛がいたため、事業主を呼びに行こうとした際、足もとが凍っていたため、転倒し、右手首を骨折したものである。	26	2	70101	1~9
76	2017	2	11~12	運転を終えて、運転士交代をした後、営業所へ戻るため、地下歩道の階段を下っていたところ、中盤あたりで雪が解けて再び凍った氷で足を滑らせた。両脇に荷物を抱えており、手すりなどにつかまることもできず、右腰から打ちつけてしまった。	54	2	40202	100 ~ 299
77	2017	1	8~9	デイサービス利用者様を迎えに行き、自宅前廊下で利用者様を車イスに乗せようとした際、利用者様にいきなり髪の毛を？まれ強く引っぱられてしまった。首が勢いよく後ろに反ったため強い痛みを生じて、首を動かすことができなくなった。	29	19	130201	—
78	2017	1	8~9	請負契約業務中、駐車場内巡回中に駐車場内が凍結しており、足を滑らせてスリップ転倒した。	52	2	170201	30~ 49
79	2017	1	9~ 10	配達を終え、配達先玄関から車両に戻ろうと配達先敷地内を歩行していたところ、凍結した路面で足が滑り、転倒し負傷した。通常はスニーカー等の運動靴着用している。	41	2	110101	500 ~ 999
80	2017	1	14~ 15	牛削蹄作業中、牛を移動している際に牛が突然走り出し、つられて前に出ようとした際、柱と牛に挟まり鎖骨骨折となった。	24	7	70101	—
81	2017	1	8~9	利用者の方をトイレに誘導中、同利用者に右足脛の横を蹴られ、右側腰部に激痛がはしり、腰椎圧迫骨折を負った。	68	19	130201	—
82	2017	1	14~ 15	日常清掃作業で、3F屋上の灰皿を処理する為、屋上塔屋の周辺を歩いていて、突風にあおられて飛ばされてしまい、2Fの屋根部分に落下し負傷した。なお、屋上にフェンスは設置さ	70	1	150101	100 ~ 299

				れていない。				
83	2017	1	8～9	デイサービス利用者宅へ迎えに行き玄関に向かう際、凍結していたコンクリートの庭先にて転倒し、咄嗟に左手をついたが体を支えきれず、横向きに転倒し、顔面左側を強打した。	66	2	130201	—
84	2017	1	8～9	安全検査実施場所において制限区域立入保安検査実施のため検査対象車両に接近した際に凍結した路面で滑ってバランスを崩し転倒し左手をついたことにより、左下腕部を骨折した。	54	2	170201	—
85	2017	1	8～9	朝出勤し、駐車場に車をとめ仕事場まで歩いている時、玄関前が凍っていて足元が滑り転倒し、右手を地面について負傷した。	55	2	130201	—
86	2017	1	9～10	新築工事現場で、廃棄物を外へ運搬時、玄関外のステップが凍結していたことにより、足を滑らせ、踏みとどまった時に右膝を痛めた。	25	2	30202	—
87	2017	1	9～10	朝、通勤で（車）駐車場に着いて、車を降りドアを閉めた時足元が凍っていたため滑り転倒し、左手を着いたため手首を骨折した。	59	2	140209	—
88	2017	1	19～20	業務出張にてガイダンスに参加した後、宿泊先ホテルへ向かう途中、交差点にて凍結した路上で転倒し、右手首骨折と診断され、骨折した右手首が通常位置からずれているため手術することになった。	59	2	120109	1～9
89	2017	1	18～19	終業後に本社のゴミ集積場へゴミを持って行き、ごみを入れて車に戻る際、駐車場で車止めの影にあった雪が解けて再び黒く凍っていたところに、うす暗い事もあり気付かずに滑って転んで右足首を骨折した。	59	2	80209	1～9
90	2017	1	7～8	朝出勤し、会社の駐車場から自分の作業場である第2工場に向かうため会社構内を歩いていた際、食堂脇を通ったとき氷で	68	2	10109	100～

				滑って尻もちをついてしまい、右側大腿部を骨折してしまっ た。				299
91	2017	1	15～ 16	灯油の配達先ですべて転倒して、背中から脇腹にかけて強 打した。	67	2	80204	10～ 29
92	2017	1	23～ 24	問屋町にある物流センターへ製品を納品するため、トラック から降りてセンターの倉庫へ歩いていたところ、凍結した路 面に滑り、転倒した際に左足を負傷した。	61	2	10104	300 ～ 499
93	2017	1	8～9	出社時、会社の駐車場に到着して、自家用車から降車直後に 路面が凍結し足を滑らせ後方に転倒し、頭を打って出血し負 傷した。	68	2	40201	100 ～ 299
94	2017	1	5～6	会社車庫内にて休憩室に戻る途中、路面の凍結により転倒し た。	73	2	40201	50～ 99
95	2017	1	19～ 20	勉強会終了後、帰宅途中に路面凍結のため転倒してしまい、 右手を地面についた時に手首を捻挫してしまった。	52	2	80109	10～ 29
96	2017	1	14～ 15	送迎バスを運転するためバスに乗ろうとした時、路面が凍っ ていて滑り、転倒した際に車のタイヤハウスに右脇腹を強打 した。	60	2	10102	10～ 29
97	2017	1	21～ 22	アイスホッケー場の散水作業を終え、散水用のホースを畳 み、いつも保管してある管理棟へしまいに行く途中、管理棟 が少し下った所にあり坂になっているため滑って転倒し、左 足の踝を骨折した。	71	2	130201	10～ 29
98	2017	1	9～ 10	路上で荷下ろしの順番待ちのため、積荷の確認をしようと運 転席を降りて荷台に移動する際、凍結した路面で両足を滑ら せ宙に浮いた状態になり、右の側頭部及び肩から地面に倒れ て骨折した。	61	2	40301	50～ 99
99	2017	1	8～9	出勤時、契約駐車場に車を止め事業所に行く途中で転倒す る。駐車場内は、前夜に雪が降り、氷結路面に雪がある滑り	49	2	130201	—

				やすい状況だった。				
100	2017	1	19～ 20	倉庫の出入口の階段を荷物（冷凍商品15kgぐらい）を持って下りる際に、階段が凍っていて滑って転倒し、階段を転げ落ち（4段位）、持っていた荷物を足に落としてしまい、右足の腓骨を骨折した。	39	2	80401	100 ～ 299

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。